

日本の製造業問題を振り返る

東京大学 名誉教授
明治大学経営学部 特任教授

新宅 純二郎

日本の製造業を振り返る

1980年代「円高とバブル経済」

- 急速な円高(プラザ合意)による海外進出
- 国内のバブル経済
- 製品輸出で稼げなくなったのを内需主導に転換
- 政策的には成功したが、、、
- 海外進出は、地に足がついていなかった。

1990年代「バブル崩壊と失われた10年」

- 中国の改革開放で20分の1の賃金の労働者が無尽蔵に供給。
- 国内から海外(中国、東南アジア、北米)への生産移転が重要な課題。日本的経営の海外移転。

日本の製造業を振り返る

2000年代 新しい海外生産モデル

- 海外生産と部材輸出モデルの確立
- 新興国市場の開拓
- リーマンショックで崩壊

2010年代 新・海外生産モデルの定着

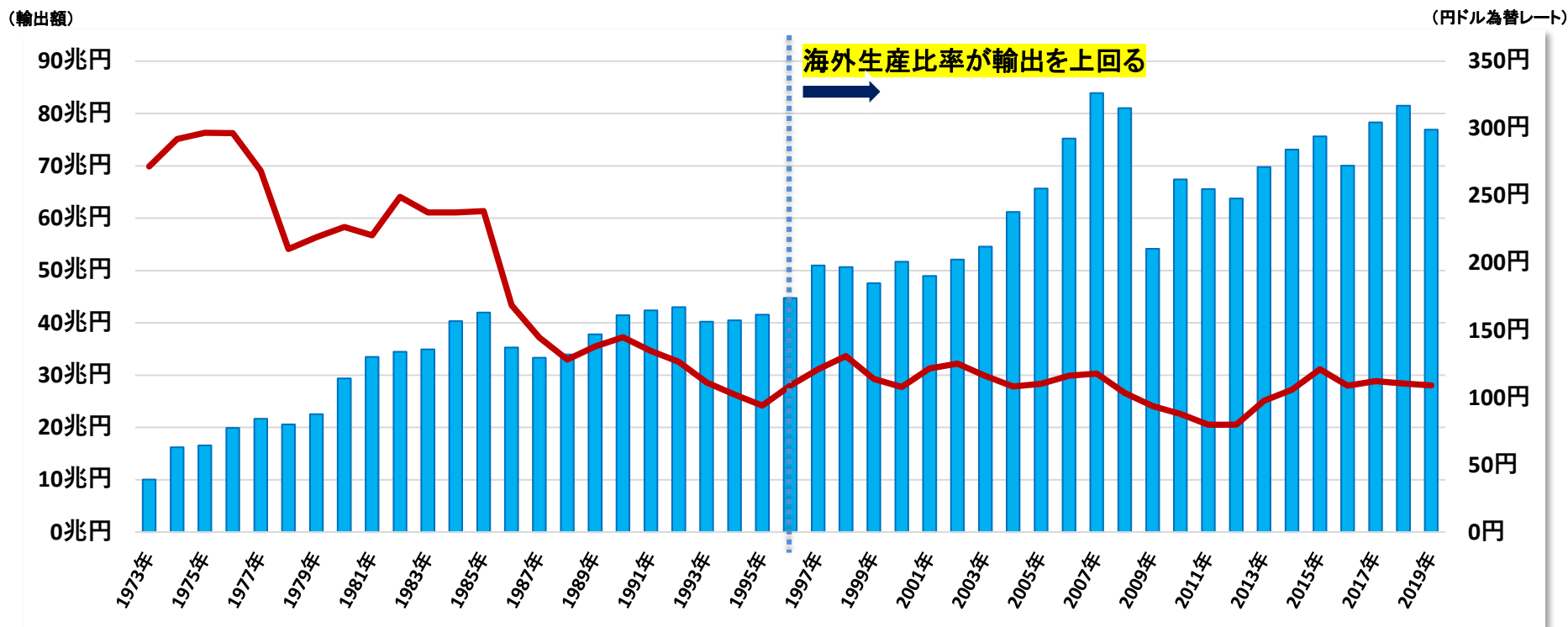
- サプライチェーン問題（サプライショック、デマンドショック）
- DX（ドイツのI4. 0）、SDGs

2020年代 新しいモデルの探索？

- 国際秩序の崩壊（安全保障）
- 国内の労働力不足

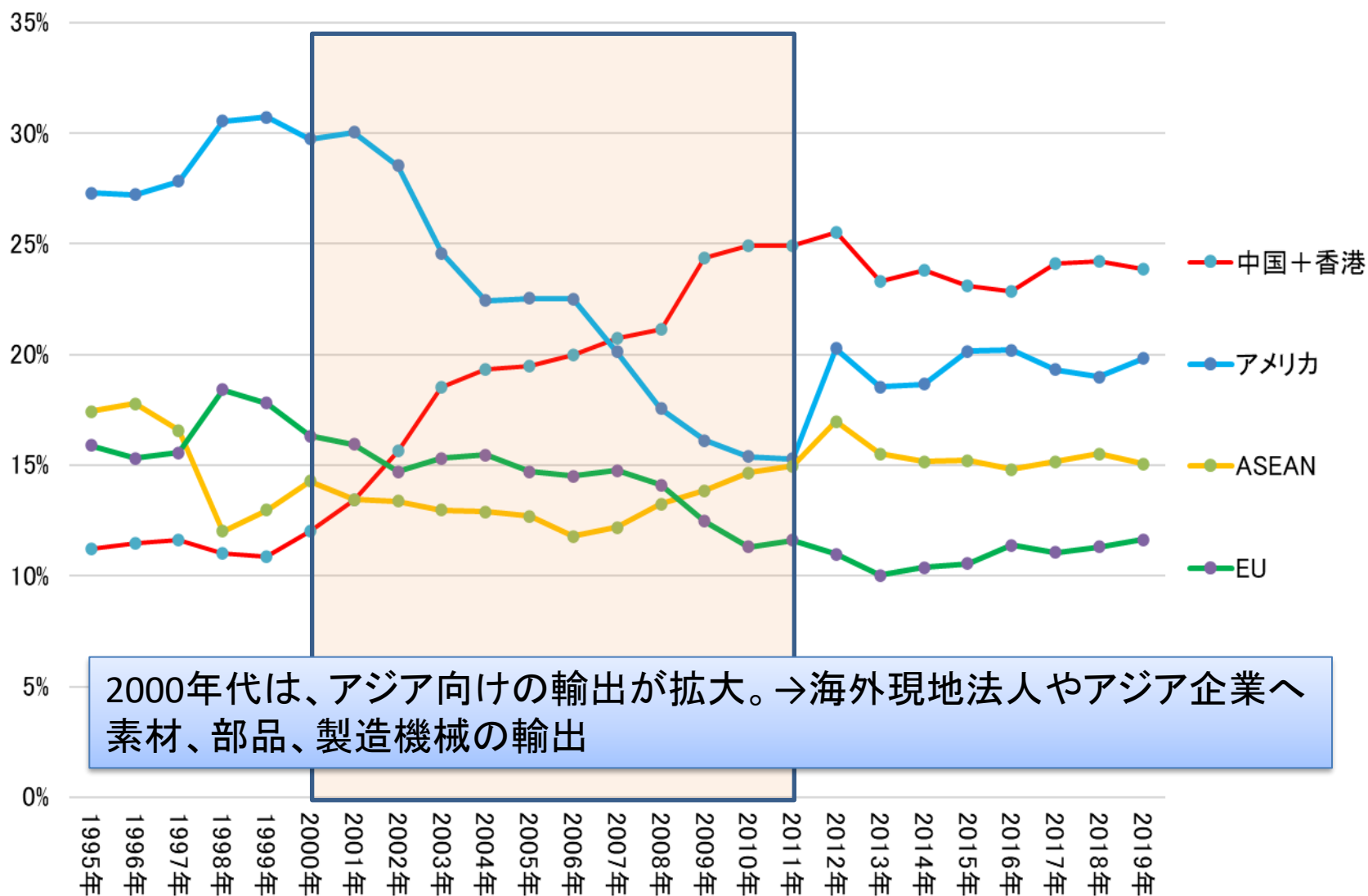
日本の輸出額と為替レートの推移

出所: 財務省貿易統計、日本銀行統計



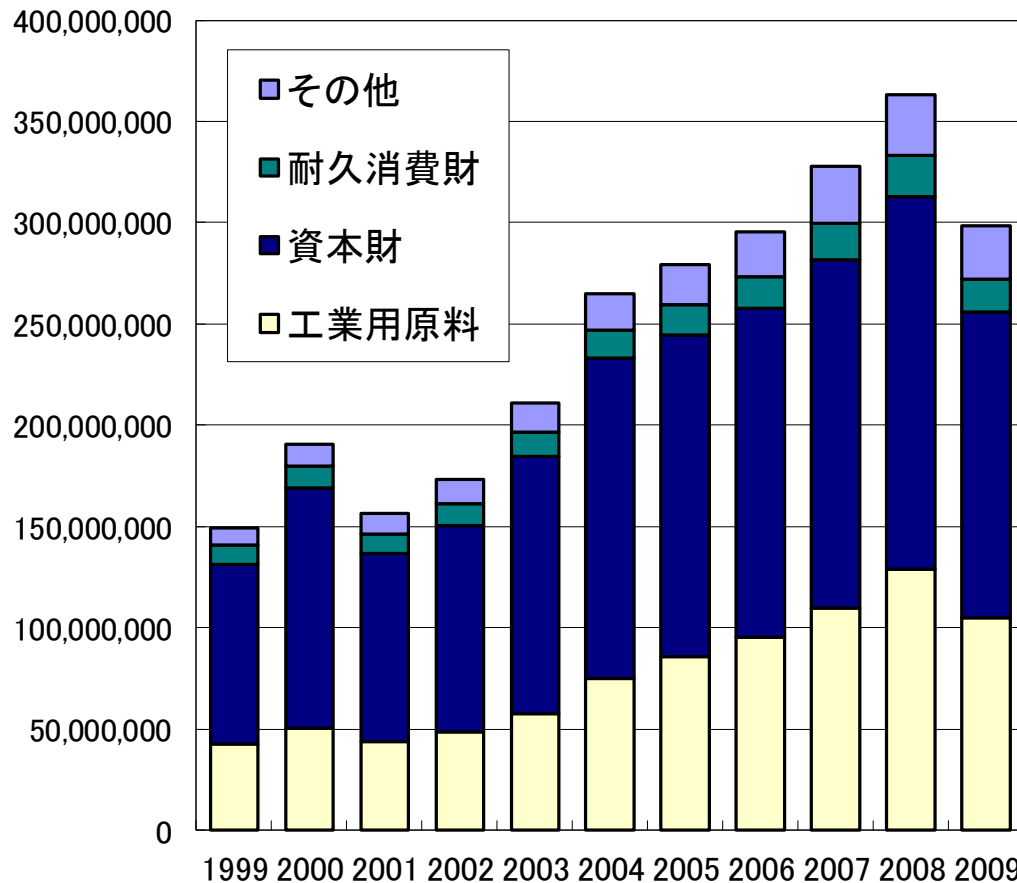
円高でも日本の輸出は堅調だった。
2000年代は、海外生産が伸びるとともに、輸出も伸びた。

日本の地域別輸出構成比の推移



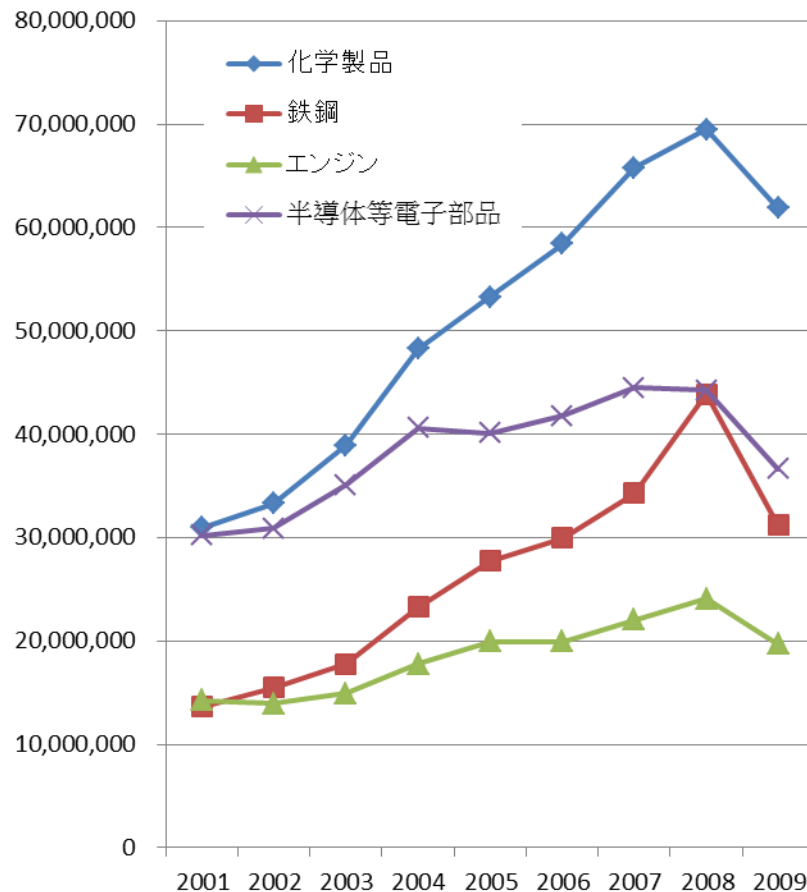
アジア向け輸出は産業財が85% (資本財50%、原料35%)

\$1,000 アジア向け輸出の財別構成



(注) アジアは、中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシアの9カ国。

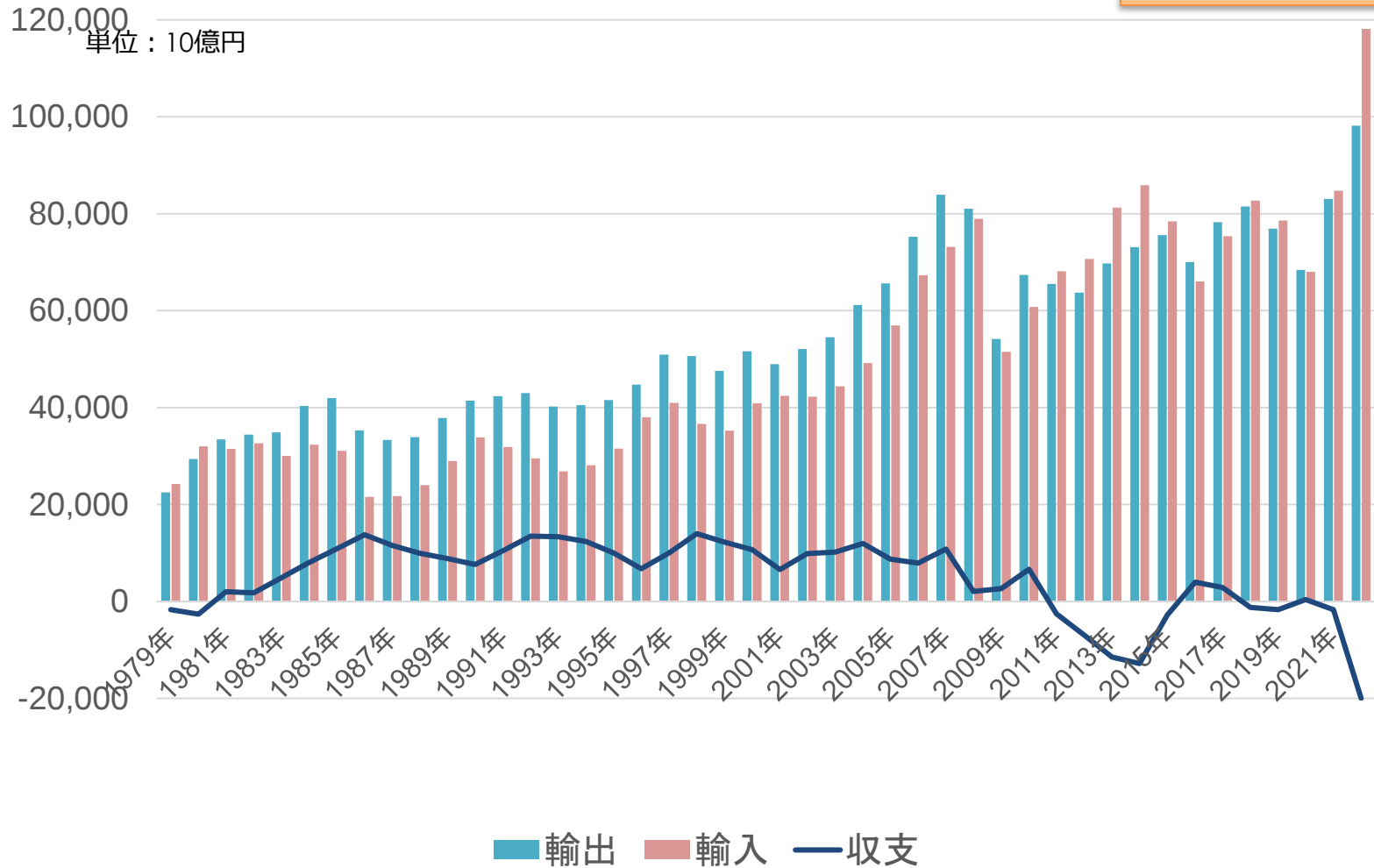
1,000ドル 産業財の輸出推移



出所：財務省「貿易統計」よりジェトロ作成資料より新宅作成。

輸出入額推移

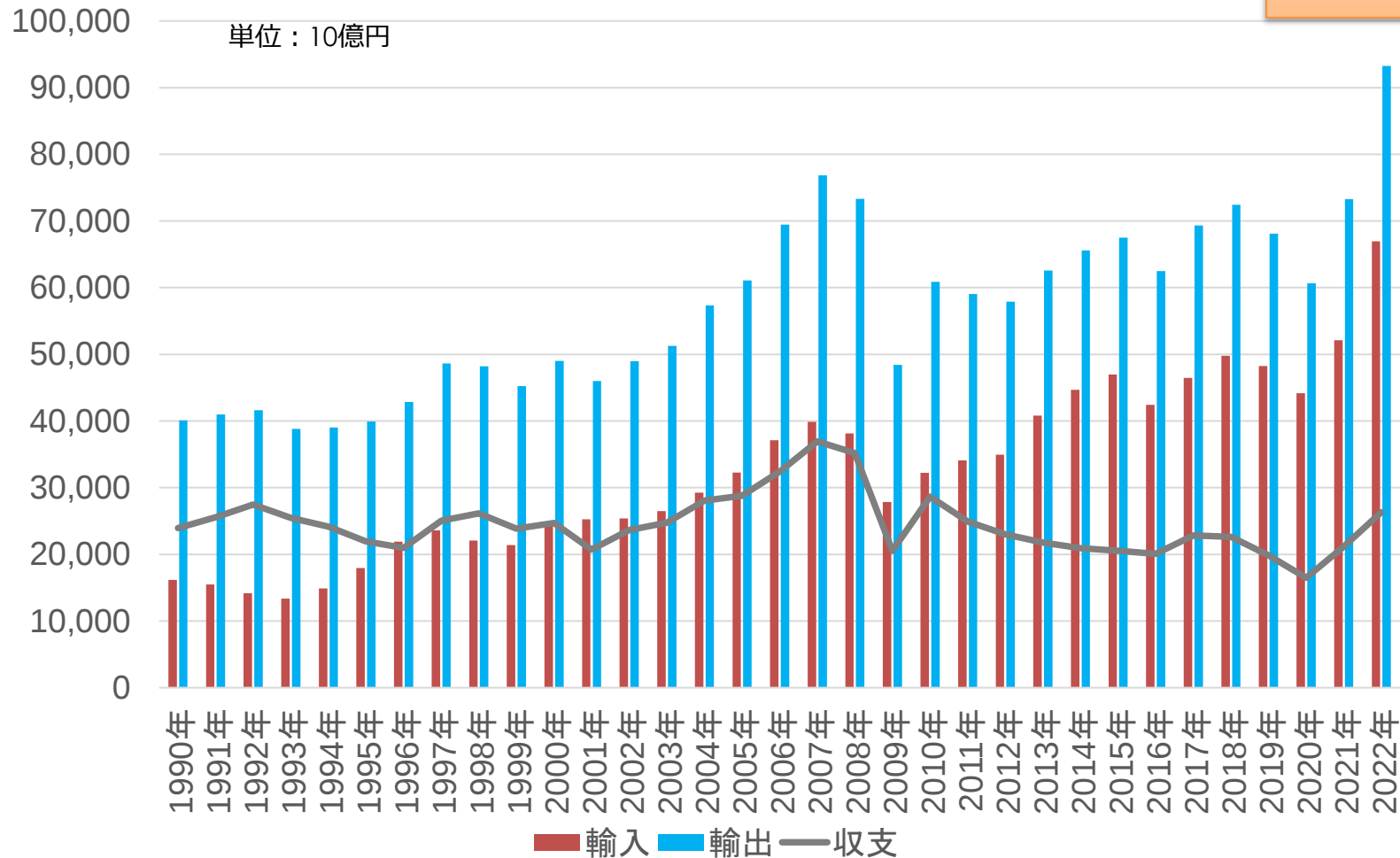
貿易赤字基調が継続



財務省貿易統計 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>) のデータをもとに作成

工業製品貿易収支の推移

工業製品貿易は
黒字。輸出は過
去最高。

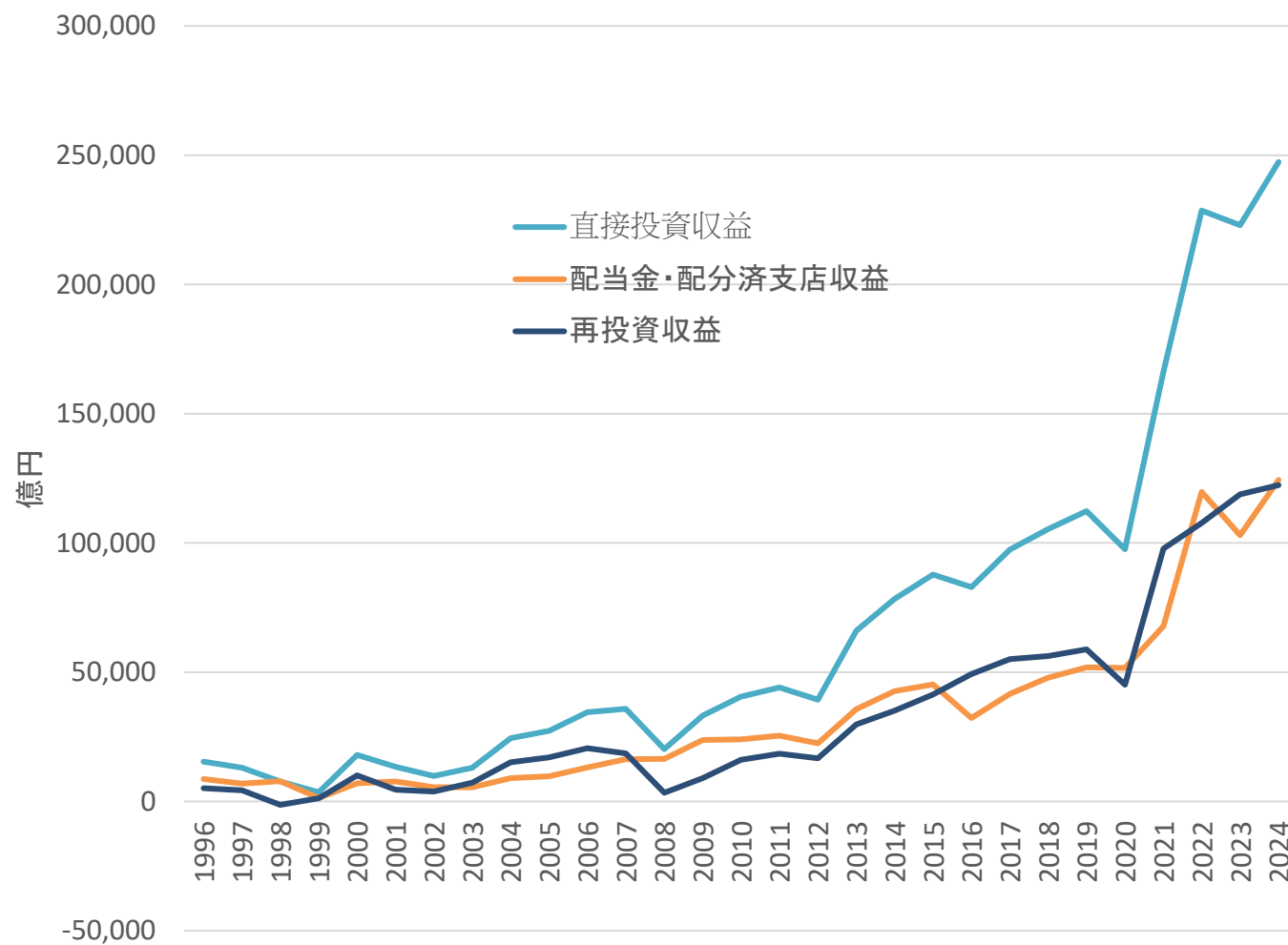


2024年
輸出は
107兆円

財務省貿易統計 (<https://www.customs.go.jp/toukei/search/futsu1.htm>) のデータをもとに作成

直接投資収益はコロナ後に急増。
国内への還元額は10兆円を超える。

直接投資収益



2024年 日本の国際収支

第一次所得収支の莫大な黒字で、経常収支は大幅黒字。

		金額	前年比
貿易・サービス収支		▲ 6兆5,152億円	+ 2兆9,015億円 (赤字幅縮小)
	貿易収支	▲ 3兆8,990億円	+ 2兆6,019億円 (赤字幅縮小)
	輸出	104兆8,698億円	+ 4兆5,153億円 (+ 4.5%増加)
	輸入	108兆7,688億円	+ 1兆9,134億円 (+ 1.8%増加)
	サービス収支	▲ 2兆6,162億円	+ 2,996億円 (赤字幅縮小)
第一次所得収支		40兆2,072億円	+ 4兆716億円 (黒字幅拡大)
第二次所得収支		▲ 4兆4,305億円	▲ 3,042億円 (赤字幅拡大)
経常収支		29兆2,615億円	+ 6兆6,689億円 (黒字幅拡大)

「経常収支」は、「第一次所得収支」が黒字幅を拡大したこと等から、黒字幅を拡大した。

2024対外直接投資収益

製造業の直接投資収益は11兆円。うち半分がアジア。

単位: 億円

	世界	アジア	北米	欧州
合計	304,933	102,718	83,114	73,031
製造業	109,569	52,376	22,180	27,620
化学・医薬	19,555	6,659	5,561	7,256
鉄・金属	6,649	2,609	2,485	1,365
一般機械	12,585	5,620	5,430	1,089
電気機械	14,073	10,167	785	2,787
輸送機械	28,598	19,894	1,390	3,448
非製造業	195,364	50,342	60,934	45,410
卸小売業	64,121	24,679	22,813	11,350
金融保険	60,757	14,435	24,043	11,541

	世界	アジア	北米	欧州
合計	100.0%	33.7%	27.3%	23.9%
製造業	35.9%	17.2%	7.3%	9.1%
食品	5.6%	0.8%	7.3%	9.1%
化学・医薬	6.4%	2.2%	1.8%	2.4%
鉄・金属	2.2%	0.9%	0.8%	0.4%
一般機械	4.1%	1.8%	1.8%	0.4%
電気機械	4.6%	3.3%	0.3%	0.9%
輸送機械	9.4%	6.5%	0.5%	1.1%
非製造業	64.1%	16.5%	20.0%	14.9%
卸小売業	21.0%	8.1%	7.5%	3.7%
金融保険	19.9%	4.7%	7.9%	3.8%

自動車産業の北米は、全体の0.5%しかない！

製造業の海外からの収益

2024年

- 輸出 100兆円・・・部材輸出
 - 利益率10%だとすると、10兆円が利益
- 海外直接投資収益 11兆円・・・完成品製造販売
 - このうち、配当などで日本還元分が、5兆円程度。
- 技術支援料(ロイヤリティ)等・・・海外事業
 - 海外子会社売上の5%程度を徴収
 - 日本製造業の売上400兆円のうち、海外売上100兆円とすると、5兆円を徴収。
- 製造業は、輸出で10兆円、海外事業から10兆円、合計20兆円を日本への利益として稼いでいる。

2030年に向けた課題

- 大企業
 - グローバルサプライチェーンの見える化、再編（紛争、対立、関税、脱炭素、人権）
 - 国際的な事業配置
- 中小企業の海外事業強化
 - 素形材ビジョン・・・海外事業比率の目標5割
 - 売る力の強化（アパレルのファクトリーブランド）
- 高価値製品への転換
 - コスト上昇への対応 $\text{利益} = \text{価格} - \text{コスト}$
 - 生産性上昇、価格転嫁だけでは不十分